



# 川上小学校だより

岡山県真庭市立川上小学校 校長 林 咲子 令和4年12月8日発行 No.18

## 2 学期もあと少しとなりました。

急に寒くなり、朝の気温が氷点下になることもしばしばですが、子ども達は寒い中がんばって登校しています。風邪様症状での欠席が増えてきました。また、市内全域でコロナ陽性者や濃厚接触者も増加傾向にあり、心配です。引き続き対策や注意をよろしくお願ひします。

## 人権参観日・教育講演会・学級懇談へのご参加

### ありがとうございました。

12月1日（木）の参観日は、各学年人権に関する授業を公開しました。



6年：大切な権利



5年：高齢者体験発表



4年：グループワークショップ



3年：道徳「いちばんうれしいこと」



2年：道徳「ぐみの木」



1年：家族にここぞ大作戦

また、教育講演会では、蒜山校地3年生の取組を聞かせていただく機会を設けました。参加者は熱心に聞かせていただきました。蒜山校地の特徴や取組、高校生が「蒜香」というお香やアロマウォーターを開発販売した実践を聞きました。5・6年生は年の近いお兄さんお姉さんの発表なので、親しみやすく感じたようでした。



発表後は、グループで意見交流をして感想や意見を出し合う場を設けました。



# 講演会・意見交流会 参加者の感想から

## ◆講演会について◆

- 蒜山校地はみんなが主役になれる場所なんだということを知って、すごくいい学校だと思いました。人数が少ないからこそできるとがたくさんあるということも知れました。地域の人達の協力があってできることは、蒜山だからこそできるんだなと感じました。
- 高校生の方々がわかりやすく説明してくださったり、面白く説明してくださったりしたので蒜山校地に興味が湧いてきました。
- 蒜山校地の方が何をされているのかが分かって、とても興味深かったです。地元の方に協力してもらいながら、できることが結構あるなあと感じました。地元の力を借りてやるのが、持続可能な取り組みになる鍵なのかなと思いました。
- 5・6年生は、うなずきながら態度良く聞けたと思います。
- やっぱり蒜山はいいとこなんだなーと思いました。



## ◆意見交流について◆

- 子どもたちにどうなってほしいかを聞いたので、聞いたことを考えて生活したいと思いました。
- 自分の好きなことを続けられるような人になってほしいとか、挨拶できる人になってもらいたいとか、色々な意見が出てきて面白かったです。
- 大勢の前で発表するのは苦手だけど、今日まとめたことを発表することが出来て、自分でも達成感があったし、周りの方々も褒めてくださってとっても嬉しかったです。
- 普段喋らない保護者さんや地域の方や高校生などと喋って交流出来て良かったです。
- 普段、親や地域の方が、しっかり川上（蒜山）のことや子供のことも考えていることが分かって嬉しかったです。
- 話し合いでは、「年代に関係なくみんなと仲良くなってほしい」や、「蒜山の凄さをもっと知りたい」や、「自信をもって蒜山の凄さを言えるようになってもらいたい」などの意見が出ました。どれも「良いな」と共感できる意見でした。空いた時間に雑談をして、グループの人達と仲良くできました。
- 話し合いでは、みんなで話し合いをしながらまとめてみて、「いい子」「かしこいこ」「やさしい子」などになりました。あまり話さない人とも喋れてよかったです。



~~コミュニティ・スクール川上のテーマ~~

「つなごう！つなごろう！ふるさと蒜山に誇りをもち 未来の創り手となる心豊かな子どもの育成」